

授業科目	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 母性看護学		
授業担当	開講時期	単位	時間数
齊藤 豊子	中期～後期	1 単位	30 時間
授業の目的 1. 妊娠期・分娩期の身体的・心理・社会的変化、胎児の成長について理解する。 2. 新しい家族の誕生期にある人々が健康生活を営むための看護実践に必要な基礎的知識と技術について理解する。			
授業の目標 1. 妊娠期の母体の変化と心理・社会的特性、胎児の成長発達、ハイリスク妊娠および異常について理解する。 2. 分娩機序と分娩経過、産婦の身体的、心理・社会的変化やハイリスク状態への看護がわかる。			
授業概要 周産期にある女性の身体的・精神的・社会的側面を理解すると共に、各期が正常に経過するために必要な援助、よりよい出産体験への援助の重要性、妊娠各期の対象のセルフケア能力を高めるための援助法について学習する。また、ハイリスク状態にある人々を理解しその看護について学習する。 産痛緩和法等の演習を行うことで、円滑に実習が行えるようにする。 プロジェクト学習に取り組むことで、妊娠経過に対するアセスメント力を養うと共に、必要な看護支援を学ぶ機会とする。			
授業計画(進め方)			
1 回目	I. 不妊症と看護	【プロジェクト学習】	
2 回目	II. 妊娠の成立・妊娠期の身体的特性	～妊婦のマイナートラブル～	
3～6 回目	III. 妊娠期の看護	1 回目	ガイダンス
	・妊娠期の心理と健康診査	2 回目	進捗状況の確認、 凝縮ポートフォリオ作成
	・妊婦健診時の看護技術	3 回目	プレゼンテーション
	・妊婦の日常生活とセルフケア		
	・出産、育児、親役割の準備		
	・ハイリスク状態にある妊婦、胎児の看護		
7・8 回目	IV. 分娩の経過と看護		
	・分娩経過と胎児の健康状態		
	・分娩の経過と看護～産痛緩和を中心に～		
	・分娩の経過と看護・産婦と家族の心理		
9 回目	・ハイリスクな状態にある産婦及び胎児の看護		
10 回目	・ペリネイタルロスを経験した産婦や家族の看護		
11・12 回目	V. 妊産婦の看護に関わる技術【演習】		
	・妊婦健康診査の実際		
	・妊産婦体験・産痛緩和・胎盤計測		
テキスト ナーシンググラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版			
参考書・指定図書 病気がみえる vol.10 産科 第4版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験 80% レポート 10% プロジェクト学習 10%			